

1 校是**「自立」**2 学校教育目標**「自主・自律の態度と共生の心を育成する」**3 本校の生徒に身につけさせたい資質・能力**「自律、そして自尊感情と他者理解」**

	知	徳	体
知識及び技能の習得	読む・書く・計算する・話す・聞くが定着している生徒 <b>【自律】【他者理解】</b>	基本的な生活習慣が身についている生徒 <b>【自律】</b>	進んで体を動かし運動を楽しむ生徒 <b>【自律】</b>
思考力、判断力、表現力、等の育成	主体的に考え、表現し、活用することができる生徒 <b>【自律】【自尊感情】</b>	リーダー性をもって、他者と関わろうとする生徒 <b>【他者理解】</b>	自己管理能力を身につけた生徒 <b>【自律】</b>
学びに向かう力、人間性等の涵養	粘り強く考え方抜く生徒 <b>【自律】</b>	自他ともに大切にする生徒 <b>【自尊感情】【他者理解】</b>	よりよい生き方を追求する生徒 <b>【自律】</b>

4 今年度の重点目標と目標達成のための取組**重点目標 1 学力向上****(1) 授業力の向上**

- グループ学習（ペア学習）を積極的に取り入れた授業の展開
- 「コの字型」での授業
- G I G A端末の授業活用（グループ学習、ペア学習への活用）

**(2) 「基礎・基本の徹底」のための取組を行う**

- 週末課題を実施する
- 生徒につけたい力を共通理解し、教材研究をすすめ、「わかる・できる授業」を追求する
- 学習効果の出る「ふりかえり」、単元テストや小テストを計画的に実施する

(3) 主体的に学ぶ力を育てるための取組を行う。

- 「学習の手引き」を作成し、学習目標・学習の仕方・心構え・評価方法について生徒・保護者に知らせる
- 学習確認プログラムの結果をもとにした学力実態を分析する

(4) 実践と連動した教職員の研修を推進する

- 年に3回の公開授業週間を設定し、相互に授業を見合うことで、授業力の向上をはかる
- スーパーバイザーを招聘し、「主体的・対話的で深い学び」の研修を深める

## 重点目標2　自尊感情を育む

(1) リーダーの育成

活発な学級活動や生徒会活動、部活動等のあらゆる場面でリーダーの育成に努める。また、リーダーを中心として様々な活動に主体的に取り組むことができる体制づくりをすすめる。そのために、夏季休業中にリーダー研修会（半日）を行う。

(2) いたずら・いじめ・嫌がらせを許さない人間関係を築く

普段から生徒の揺れ動く心理を的確に把握し、きめ細かい観察を心掛けると共に、問題への迅速な対応や指導により再発を防ぐことを目指す。また、お互いに認め合い、高め合う集団づくりに努め、問題の根絶を目指す。そのために、令和5年度より年間2回の人権学習を行う。

1年	(前期)	L G B T Q	(後期)	障害者差別
2年	(前期)	いじめ	(後期)	外国人差別
3年	(前期)	いじめ	(後期)	同和問題

(3) 不登校生徒への「つながり」を大事にした支援を行う

様々な原因で不登校になった生徒に対して、担任を中心にバックアップし支援を行う。必要に応じてスクールカウンセラーや外部関係機関なども活用し、最善の支援を行える校内体制の確立をすすめる。

(4) 「世界に1つだけの花」を中心とした、生徒のいいところ探しを行う

1週間につき、各学年4名ずつのいいところ（行い）を教職員が見つけ、学校ホームページで紹介する。

## 5 中心的な5つの取組

（取組の裏付けとなる理論：欲求理論・行動理論・愛着理論・ソーシャルボンド理論）

- ① 学び（協同学習）協同学習を毎時間最低5分以上取り入れる
- ② S E L（社会性と情動性の学習）年間12回のS E Lの授業を行う
- ③ P B I S（学校環境におけるポジティブな行動介入と行動支援）の実施

- ④ 品格教育 毎月の行動目標を設定して、全校生徒が心がける
- ⑤ ピアサポート（異学年交流）